

令和2年度 日本史B課題（1学期 第4回） No.1

2年 _____ 組 _____ 番 氏名 _____

〈注意事項〉

- ①今回プリントは5枚あります。教科書等の内容をまとめたものです。空欄に適する語句を記入したり、設問にも答えて下さい。なお、教科書に載っていない場合は図説やインターネット等を使って調べて下さい。
- ②このプリントは評価に関係します。しっかり取り組み、期限を守って必ず提出して下さい。なお提出の際はプリント4枚（左上）をホチキスでとめてください。

〈弥生文化の生活〉

（5）埋葬

- ①共同墓地に（ ）葬 ☆土壌（どこう）墓、木棺墓、箱式石棺墓
- ②（ ）墓…大型の平たい石の下に埋葬する。緒戦半島南部の影響が大きい。九州北部で多く見られる。
- ③（ ）墓…2つの土器を合わせて、その中に遺体を葬る。1つだけの場合もある。九州北部で多く見られる。
- ④（ ）墓…方形の低く土盛りされた墳丘の周りに溝を巡らせて埋葬。家族墓的性格。近畿で出現。
- ⑤大型の墳丘墓をもつ墓
 - a（ ）墳丘墓（岡山）
→約40mの円墳の両側に突出部を持つ
 - b（ ）墳丘墓…山陰地方に多い

（2）青銅製祭器の使用 … 神祭り（実りを祈願、収穫を感謝）

- ①（ ）… 瀬戸内海で多く発見されている銅製の剣。
島根県の（ ）遺跡では、これが358本、発見された。
- ②（ ）… 九州北部で多く発見されている。袋状の根元に柄を入れる刺突用の武器。

令和2年度 日本史B課題（1学期 第4回） No.2

(2) 青銅製祭器の使用 … 神祭り（実りを祈願、収穫を感謝）

③ () … 九州北部で多く発見されている。刃に直角の柄をつけた武器。

④ () … 近畿地方で多く発見されている。釣り鐘型の青銅器。

島根県の () 遺跡では、これが39個発見された。

(問) 上記の①～③のような青銅製祭器が武器として使われなくなった理由を考えてみよう！（ヒント：鉄製武器と比較してみよう！）

〈小国の分立〉

(1) 農耕の発達 → 集落の出現 → 集落間で余剰生産物の争い

→ 小国の誕生 … 小国の王が支配

(2) 中国史書の記述

①日本 … 中国の歴史書では () (2文字) とよばれる。

☆日本人は () (2文字) とよばれた

→ 「日本」は7世紀以降に登場

② 「()」() … 紀元前2世紀～紀元後1世紀の日本

(史料：教科書p21 参照)

「夫れ () 海中に倭人あり。分れて () と為る。歳時を

以て来り献見すと云ふ。」

☆この史料からわかること

- 当時の日本は () に分かれていた。
- 日本から定期的に () 郡へ朝貢していた。

令和2年度 日本史B課題（1学期 第4回） No.3

（2）中国史書の記述

③ 「（ ）」（ ）… 1世紀～2世紀の日本

（史料：教科書p21 参照）

「建武中元2年、倭の（ ）、貢を奉じて朝賀す。使人自ら大夫と称す。
倭国の極南界なり。（ ）、賜ふに（ ）を以てす。安帝の永初
元年、倭の国王（ ）等、生口百六十人を献じ、請見を願ふ。桓靈の間、
倭国大いに乱れ、更相攻伐して歴年主なし。」

☆この史料からわかること

• 奴国（なこく）の王の使者が、（ ）帝より印綬を授かった。
☆「印綬」…印鑑とそれを包む組みひも

→ その年が「建武中元2年」…西暦（ ）年。

→ 「印綬」の印鑑は金印…「（ ）」と刻印される。

☆この金印はのちの1784年、福岡の（ ）島で農民・
甚兵衛（じんべえ）が発見

• 倭の国王、帥升（すいしょう）は奴隷160人を献上した。

→ その年が「安帝の永初元年」…西暦（ ）年。

☆生口（せいこう）…奴隷の意味

（問）倭の国王、帥升（すいしょう）が奴隷160人を献上した。その理由
を考えてみよう！（ヒント：中国の皇帝から認められると日本国内で
何かメリットがありそうだね！）

• 2世紀後半（桓靈（かんれい）の間）に倭国は戦国時代となる

令和2年度 日本史B課題（1学期 第4回） No.4

〈邪馬台国連合〉

(1) 3世紀頃、中国は（ ）時代…（ ）・呉・蜀

(2) 中国史書の記述

「（ ）」（ ）… 3世紀頃の日本

（史料：教科書p22 参照）

「倭人は（ ）の東南大海の中にあり。…今使訳通ずる所（ ）
国。郡より倭に至るには、海岸に循ひて水行し、…（ ）に至る。

女王の都する所なり。…下戸、大人と道路に相逢へば、逡巡して草に入り…

倭国乱れ相攻伐して年を歴たり。乃ち共に一女子を立てて王と為す。名を

（ ）と曰ふ。（ ）を事とし能く衆を惑わす。…

景初二年六月、倭の女王、大夫難升米等を遣し郡に詣り、天子に詣りて朝献せん

ことを求む。…その年十二月詔書して倭の女王に報じて曰く…「…今汝を以て

（ ）と為し、金印紫綬を仮し…」と。…卑弥呼以て死す。大いに

家を作る。…復た卑弥呼の宗女（ ）の年十三なるを立てて王と為す。

國中遂に定まる。」

☆この史料からわかること

• 邪馬台国連合…（ ）を中心とする約30の小国連合

• 女王（ ）…「鬼道」（呪術、まじない）が得意。弟が政治を助ける

a 死後（247年?）、騒乱続く→（ ）を女王とし、治まる。

b 墓?…（ ）古墳（奈良、3世紀前半） ※教科書p23参照

令和2年度 日本史B課題（1学期 第4回） No.5

☆この史料からわかること（続き）

・身分社会…大人（たいじん）、下戸（げこ）の身分差あり

・外交

・「景初二年」…西暦（ ）年→卑弥呼、魏に朝貢した

→「（ ）」の称号や銅鏡 100 枚、金印紫綬などを与えられる。

☆銅鏡…（ ）（6文字）か？

→黒塚古墳（奈良）などで多数出土

・位置…邪馬台国はどこにあったか？

→史料の通り進むと邪馬台国は九州のはるか南の海上に行き着く。

そこで、（ ）論争がうまれた。

a （ ）…方位はそのまま、距離を修正

→ 邪馬台国の勢力範囲は北九州のみ（地方政権）

☆吉野ヶ里遺跡（佐賀）などが根拠

b （ ）…距離はそのまま、方位を修正（「南」から「東」へ）

→ 邪馬台国の勢力範囲は近畿～北九州（のちのヤマト政権か？）

☆（ ）遺跡（奈良）などが根拠

（図説 p12 参照）